

## 2025(令和7)年度 私立短期大学図書館協議会・全国総会 議事録

- 日時：2025年5月16日（金）13:00～16:15
- 会場：東京都公文書館〈東京都国分寺市泉町 2-2-21〉
- 出席館：12館(19名) 委任状 55館 合計 67館
- 司会：古川将偉治（千葉経済大学総合図書館）
- 記録：高野聡（新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部図書館）
- 資料配布：全国総会議案書、私立短期大学図書館協議会規約



### 総会成立確認

司会より協議会規約第 11 条に基づき、総会が成立したことが報告された。

### 会長挨拶

齊藤誠一会長（千葉経済大学短期大学部）より挨拶があった。

### 議長の選出

議長に前川和子氏（前大手前大学）が指名された。

### 記録人の指名・紹介

司会より、記録人として高野聡氏（新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部図書館）が指名された。

### 議題 1. 2024 年度事業報告

本部事務局の林浩次氏（前聖徳大学川並弘昭記念図書館）より、総会議案書に基づいて報告があった。

#### 1) 会勢 98 館(2025 年 3 月 31 日現在)

北海道地区 7 館、東北地区 13 館、関東・甲信越地区 41 館、東海・北陸地区 10 館、近畿地区 10 館、中国・四国地区 2 館(休会)、九州地区 15 館

入会館【関東甲信越地区】1 館

上野学園図書館

退会館【関東甲信越地区】2 館

実践女子大学短期大学部図書館

上田女子短期大学附属図書館

【近畿地区】3 館

常磐会学園図書館

頌栄短期大学図書館

大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部図書館

退会 賛助会員（個人）（予定）

杉田美香氏

- 2) 全国理事会（出席 16 名）  
日時：2024 年 5 月 16 日（木）14：00～17：00  
場所：林野会館  
・2023 年度本部・地区の事業報告および 2024 年度総会議案を検討した。
- 3) 全国定期総会（会員館 98 館中 12 館参加、委任状 74 館、12 館未提出）  
日時：2024 年 5 月 17 日（金）13：00～17：00  
場所：株式会社内田洋行 新川本社  
議案：1. 2023 年度事業報告  
2. 2023 年度決算報告および監査報告  
3. 2024 年度新役員選出  
4. 2024 年度事業計画案  
5. 2024 年度予算案  
・各担当から説明があり、審議の結果、それぞれ提案通り承認された。  
講演：「時代とともに変わる図書館への取り組み」  
講師：有賀幸一氏（株式会社内田洋行）  
見学：株式会社内田洋行 新川本社
- 4) 全国研修会  
隔年開催であるため、2024 年度（令和 6 年）の開催はなかった。
- 5) 研究誌『短期大学図書館研究』第 44 号の刊行（2025 年 3 月）  
木村修一理事（北海道武蔵女子短期大学）が担当した。
- 6) 広報（Web 公開）  
「会報」No.79 の作成(2024 年 5 月) 前川和子理事（元大手前大学）が担当した。  
ホームページ・メーリングリストの改訂とサイト保守・運用委託契約  
委託先：エックスアマウント合同会社  
『図書館年鑑』本協議会分の原稿を作成
- 7) 私立短期大学図書館協議会の運営に対する改革提案プロジェクト  
標記のプロジェクトを立ち上げ、下記のとおり審議し、今年度の検討内容を『私立短期大学図書館協議会の運営に対する改革提案プロジェクト検討報告書(案)』としてまとめ、各地区協議会への説明を始めた。
  - ・7 月 4 日：第 1 回会議 現状分析と今後の進め方、及び改革事項の洗い出し
  - ・7 月 22 日：第 2 回会議 改革事項のたたき台の提示及び検討
  - ・8 月 19 日：第 3 回会議 改革事項の検討、及び具体的な骨子案の検討
  - ・9 月 19 日：第 4 回会議 アンケート調査の検討
  - ・10 月 21 日：第 5 回会議 アンケートの分析
  - ・12 月 3 日：第 6 回会議 アンケート調査のまとめ及び改革案報告書の検討
  - ・12 月 23 日：第 7 回会議 最終報告の内容の検討、方向性の確認
  - ・1 月 15 日：第 8 回会議 最終報告の内容の検討
  - ・2 月 27 日：第 9 回会議 各地区理事等への説明の方法
- 8) 本部役員会 全 7 回開催（関東甲信越地区幹事会との合同開催）  
※第 1 回以外は Web 会議(Zoom ミーティング)

## 議題 2. 2024(令和 6)年度決算報告および監査報告

本部会計の石田孝夫氏(前カリタス女子短期大学図書館)より、総会議案書に基づいて2024(令和 6)年度決算報告があった。加盟館の減少により予算がひっ迫していること、また決算報告は「本部会計」と「全国研修会」の「二本立て」となっている旨説明があり、2024年度は全国研修を実施しなかったため、285,581 円全額を本部会計に移管したとのことであった。その後、監査人の今井智子氏(文化学園大学図書館)から「監査を行った結果、適正に処理されている」との報告があった。

※議長より議案 1・2 について一括審議の提案があり、承認された。

## 議題 3. 2025 (令和 7) 年度新役員選出

本部事務局の林浩次氏(前聖徳大学川並弘昭記念図書館)より、総会議案書に基づいて2024(令和 6)年度新役員(案)の説明があった。また、近畿地区の役員の任期「2024.5～2025.5」について、「2025.5～2026.5」に訂正があった。

※議長より議題 3 について審議の提案があり、承認された。

## 議題 4. 2025 (令和 7) 年度事業計画案

本部事務局の林浩次氏より、総会議案書に基づいて事業計画案の説明があった。

### 1) 会勢 93 館(2025 年 4 月 1 日現在)

北海道地区 7 館、東北地区 13 館、関東・甲信越地区 39 館、東海・北陸地区 10 館、近畿地区 7 館、中国・四国地区 2 館(休会)、九州地区 15 館

### 入会

賛助会員 (個人)  
木村修一氏

### 2) 全国理事会

日時：2025 年 5 月 15 日 (木) 14:00～17:00  
会場：林野会館

### 3) 全国定期総会

日時：2025 年 5 月 16 日 (金) 13:00～17:00  
場所：東京都公文書館

記念講演会：「センスの良い学生に対して、短期大学図書館は一寸先の光と闇に適応し  
乗り越える智慧を与える：ルーティンで既製の膨大な情報をパターン深  
層学習・超高速処理する凡庸な AI を越えよう」

講師：山本順一氏 (元 筑波大学図書館情報メディア研究科)  
見学：東京都公文書館

### 4) 全国研修会の対応について

### 5) 研究誌『短期大学図書館研究』第 45 号の刊行 担当：木村修一理事 (北海道武蔵女子短期大学)

### 6) 広報

「会報」No.80 号の作成

担当：前川和子理事 (前大手前大学)

ホームページ・メーリングリストの改訂とサイト保守・運用委託契約



委託先：エックスアマウント合同会社  
バナー広告  
『図書館年鑑』本協議会分の原稿作成

7) 『私立短期大学図書館協議会の運営に対する改革提案プロジェクト検討報告書（案）』の更なる説明と最終案の作成、及び改革内容の決定

8) その他

#### 議題 5-1. 会費規程の改正案の提案

本部会計石田孝夫氏より、総会議案書に基づいて会費規程の改正案の説明があった。  
加盟館の減少により会費収入から支出されている地区活動助成金について、10館を超えている東北地区、関東甲信越地区、九州地区以外の地区は相殺か助成金が会費を上回ってしまうため、令和7年度から10万円を5万円に減額したいとの提案であった。

#### 議題 5-2. 2025（令和7）年度予算案.

本部会計石田孝夫氏より、総会議案書に基づいて予算案の説明があった。  
予算案は地区活動助成金の10万円から5万円への減額を反映したものであること、また各地区の予算は既に減額前の助成金の金額で作成されているが、各地区の予算書の修正は不要で決算書で修正をお願いする予定であるとのことであった。

※議長より議案4・5-1・5-2について一括審議の提案があり、承認された。

#### 議題 6. 私短図協改革提案プロジェクト報告案の説明

齊藤会長より、改革提案プロジェクトチームでまとめた報告書の提案について、今年度に引き続き会員の皆様に説明をするとともに、十分理解をいただいた上で最終案を作り、来年度から実施していく予定である旨の説明があった。

#### 議題 7. 今後の研究誌への対応について（提案）

齊藤会長より、改革提案プロジェクトチームでも研究誌を電子ジャーナル化するなど継続して発行する方法を検討してきたが、編集スキルを持った担当者の確保が困難なため、木村理事と毛利名誉会長と相談をして、今年度発行する45号を最終号としたい旨の説明があった。今後は、会報を充実して研究誌に代わるものとする予定とのことであった。



※議長より議案6・7について一括審議の提案があり、承認された。

#### 議題 8. その他

全国研修会について

齊藤会長より、今年度は全国研修会の年であるが、一人職場で集合研修への参加が難しくなっているため、オンデマンド研修を企画し今年の9月～12月で実施する旨の提案があった。

※議長より議案8について提案があり、承認された。

**【講演】 14 : 15～15 : 30**

**記念講演会 :**

**講師 :** 山本順一氏 (元 筑波大学図書館情報メディア研究科)

**見学 :** 東京都公文書館

テーマ : 「センスの良い学生に対して、短期大学図書館は一寸先の光と闇に適応し乗り越える智慧を与える : ルーティンで既製の膨大な情報をパターン深層学習・超高速処理する凡庸な AI を越えよう」

**講師 :** 山本順一氏 (元 筑波大学図書館情報メディア研究科)

内容 : 18 歳人口の減少に留まらず、大学をとりまく環境と入学してくる学生が大きく急速に変化する中で、短期大学として生き残るために必要な視点を山本先生の経験を踏まえてお話いただいた。日本の選抜試験とは言い難い学生募集の状況を鑑み、文部科学省の政策誘導に従っているだけの教育では他大学との差別化はできず、生き残ることは困難であり、独自の教育手法で学生を育てブランド化するような創造的な変革が必要である。「優れた市場競争力の備わった製品=学生には、最低限、読書習慣、高等教育を受けるに足るリテラシー能力が不可欠です」ということで、図書館とライブラリアンが重要な役割を果たすというお話があり、ライブラリアンとして希望を持つことができた半面、役割と責任の重さに身の引き締まる思いがする講演内容であった。



**【見学】 15 : 45～ (自由解散)**

各自で東京都公文書館内の展示室と閲覧室を見学した。